

令和 2 年 1 0 月 1 日

令和 3 年度青梅市予算編成方針

1 国・都の予算編成の概要

国は令和 3 年度予算において、要求額は基本的に対前年度同額としているものの、概算要求段階での予算額は決めず、その仕組みや手続を簡素化している。

東京都では「令和 3 年度予算の見積りについて（依命通達）」において、「財政環境の先行きを見通すことが困難な中、これまで培った財政対応力を最大限発揮し、新しい「未来の東京」の実現に向けて、都政に課された使命を確実に果たしていく予算」として編成することとしている。

経常的・定型的な経費については、マイナス 1 0 パーセントのシーリング、感染症対策等にかかる経費はシーリングの枠外、既存事業は事業の見直し・再構築に加え、徹底的な経費精査を実施し、メリハリを強化した予算配分としている。

2 青梅市の財政状況および見込み

令和元年度一般会計決算において、財政の弾力性を示す経常収支比率は、前年度から 0. 6 ポイント悪化し、平成 2 8 年度以来、1 0 0 パーセントを超え、1 0 0. 2 パーセントとなった。

歳入においては、モーターボート競走事業収入の増等により、対前年度比 0. 5 パーセント増の 5 1 8 億円余となったものの、基幹財源である市税収入は法人市民税の減等により、1 9 7 億円余となり、2 年連続で 2 0 0 億円を下回った。さらに今年度以降においても新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な落ち込みが予想される。

歳出では、投資的経費が前年度比で減となったものの、扶助費や物件費などが増加しており、経常的経費の抑制は急務となっている。

また、赤字地方債である臨時財政対策債については、発行可能額（2 0 億 4 千万円余）を満額借入れ、財政調整基金についても 5 億円余を取り崩しており、今後さらに厳しい財政運営を強いられる。

なお、詳細については、別紙「令和 3 年度財政見込概要」のとおりである。

3 予算編成の基本方針

令和3年度予算は、前年踏襲ではなく事務改善の徹底を図り、新型コロナウイルス感染症や災害等の不測の事態にも不撓不屈の精神をもって挑み、誰もが安心して生き生きと暮らせる「活力ある青梅」の実現を目指した予算とし、以下の4項目を基本方針として編成する。

(1) 総合長期計画等の推進

「第6次青梅市総合長期計画実施計画」および「青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけられた事業については、新型コロナウイルス感染症による影響等で財政見通しにおける収支不足が生じていることを念頭に置き、実施内容をあらゆる角度から検証するとともに、過去の決算等の分析・検証を踏まえて歳出抑制に努めること。

また、行財政改革においては、「行財政改革推進プラン」に掲げた最終年度の数値目標達成に向け、着実な取組を進めていく。

(2) コロナ禍における新しい行政運営

新しい生活様式においては、感染拡大を防ぐために飛沫感染や接触感染、さらには近距離での会話への対策を日常生活に定着・持続させることが重要である。行政サービスにおいても、来庁する手間を省いたり、来庁回数を減らす等して、接触する機会を最小限に抑えることは責務である。これまでの事業実施のあり方はもとより、各種手続等を見直し、「ICTを活用した効率的な行政運営」や「行政手続のオンライン化およびキャッシュレス化」等を可及的速やかに推進していく。

(3) 重点事業への取組

「ひと」や「施策」がつながり合い、つながり続け、飛躍していくまちの実現に向け、以下の事業について、重点事業として取り組む。

- ア 圏央道青梅インターチェンジ北側における物流拠点の整備
- ・農業振興地域、農用地区域の早期除外に向けた取組の推進
 - ・市街化区域編入に向けた取組の推進
 - ・市域全体の農業振興策の推進

イ 総合病院の建て替え

- ・新病院建設に向けた着実な取組

ウ 青梅ファン獲得に向けた取組

- ・吉川英治記念館および梅の里の再生、観光等の青梅の魅力発信
- ・オリンピック・パラリンピックを通じた市の活性化事業

エ 子育てと学びのしやすいまちづくり

- ・子育てと仕事をしやすい環境整備
- ・快適な学校生活のため環境改善

(4) 持続可能な財政運営の確立

基金の取崩しや市債、モーターボート競走事業からの繰入などに依存した財政運営が恒常化し、経常的経費の圧迫による財政構造の硬直化は著しい現状である。

このことから、既存の財源を最大限確保することはもとより、常に国や都の政策動向を把握し、新規財源の能動的かつ積極的な獲得に努める一方、前年踏襲手法からの脱却を図るべく、事業の選択・集中・再構築・廃止などあらゆる方向性を模索し具現化する。

財政運営に当たっては、財務書類等を積極的に活用し、適切な資産・債務の管理、年度間コストや他自治体との比較分析に努める。

また、職員一人ひとりが常にコスト意識を持ち、事務改善を重ねて時間外勤務時間の削減を図りながら事業を実施し、最小の経費で最大の効果を挙げるため、行政評価を有効に活用する。

4 予算要求基準

令和3年度当初予算における経常的経費については、原則として、各部ごとに2年度当初予算額の10パーセント減を上限額とした範囲での要求とする。ただし、新型コロナウイルス感染症対策にかかる経費については、シーリングの枠外とする。

以 上

令和3年度 財政見込概要

一般会計

(単位：百万円)

区 分	令和2年度	令和3年度		備 考
	当初予算額	見込額	増減額	
1 歳 入	51,300	48,726	△ 2,574	
① 一般財源等	29,062	27,098	△ 1,964	普通交付税3,320 (R2実績額)
② 特定財源	20,288	19,732	△ 556	事業債0
③ 財源対策分	1,950	1,896	△ 54	臨時財政対策債 (R2実績額)
2 歳 出	51,300	51,669	369	
A 指定経費	41,804	41,608	△ 196	
B 政策的経費	3,542	4,106	564	
C 経常・定型的経費	5,955	5,955	0	
財源過不足 1-2	0	△ 2,943	△ 2,943	

※ 1 現行制度を前提としているが、新型コロナウイルス感染症の影響による市税落ち込みを△10%と見込んだ。

※ 2 令和3年度推計は、財調取崩、公共基金取崩は0円とした。

※ 3 政策的経費は、債務負担工事等義務的なものの他、長計実施計画事業等を見込んだ。

※ 4 使用料および手数料の見直し（特別会計を含む）については、見込んでいない。

※ 参 考

1 一般会計からの他会計への繰出金<病院事業会計への出資金を含む>

(単位：百万円)

区 分	令和2年度	令和3年度		備 考
	当初予算額	見込額	増減額	
他会計繰出金等	6,834	6,898	64	
国民健康保険会計	1,604	1,614	10	
下水道事業会計	1,079	1,094	15	
後期高齢者医療会計	1,697	1,777	80	
介護保険会計	1,605	1,675	70	
病院事業会計	849	738	△ 111	

2 モーターボート競走事業会計から他会計への繰出金

(単位：百万円)

区 分	令和2年度	令和3年度	備 考
一般会計への繰出金	900	900	

3 主な基金の残高および取崩見込

(単位：百万円)

区 分	令和2年度※	令和3年度取崩見込	備 考
① 財政調整基金	3,569	0	
② 公共施設整備基金	2,428	0	
③ ふれあい福祉基金	388	0	
合 計 ①+②+③	6,385	0	

※ 9月補正後の見込